

日本代表チーム欧州遠征 (10)



全体で8位に入ったLM2x（中野選手（NTT東日本）、大元選手（アイリスオーヤマ））

World Cup II

6/21（日） レース最終日

レースの三日間、好コンディションに恵まれ、最終日は最高のボート日和となりました。レース前は昨日レースが終わったクルーもトレーニングをし、次の目標に向かって動き出しました。レースのないクルーはリガーを取り外し、次なる合宿地プジョーノに向けてFilippiに運搬して頂くよう、積み込みの準備をしました。

日本勢一発目はLM1X Final B JPN1福井選手のレースとなりました。
時間になると速やかに艇を持っていき、最後に大林コーチと船台にてミーティング、出艇しました。まだ19歳という若さでこの大会に出場し、最終日にきて貫録が出てきたような感じてした。相手はいずれもヨーロッパ勢。Final Bの、この中で戦えることが、まず日本チームにとってはなかなかないことでした。福井選手は挑戦者としてこのレースに挑んでいきました。

スタートから福井選手は果敢に飛び出していき、500m時点では2位というよい滑り出し。しかし、その後徐々に周りのクルーが追い上げていき、後半はとても苦しい展開に。6着でフィニッシュ、全体12位となりました。慣れない環境の中シニア選手も多くなるWorld Cupの3日間で4レースしたことは、福井選手にとってはとてもハードであったと思いますが、とてもよいチャレンジだったのではないのでしょうか。今後さらなる飛躍に期待できそうです。

LM2X JPN2中野選手・大元選手のFinal Bは準決勝タイムではニュージーランドに次いで組2位、好レースが期待されました。出艇前は大林コーチと最終確認をし、同じLM2Xで出場していた浜田選手に送りだされました。序盤よりニュージーランドとトップ争いを繰り広げ、終始並んだ状態で観覧席前のラスト150mに突入、相手のラストスパートが入り、引き離され2着でゴール、8位となりました。日本勢の一桁の快挙となりました。観客一同息をのむ白熱した素晴らしいレースでした。

日本チームのラストはLM4- JPN1 片岡選手・田立選手・西村選手・今井選手のFinal Bです。蹴り出し前にクルーでミーティングしたのち、出艇。前半からイタリア1



全体で11位に入ったLM4- 片岡選手（明治安田生命）、田立選手（戸田中央総合病院RC）、西村選手、今井選手（ともにNIT東日本）

が飛び出し、残り5クルーは横一線。徐々にはなされ6位でラストクォーターに突入、ここで決死のラストスパート、みるみる差が縮まりゴール手前でオーストラリアに追いついたかと思いましたが5位でフィニッシュ。ラストクォーター1分28秒37は出場6クルー中1番のタイムです。Repechageのときもでしたが、素晴らしいラストスパートを見せてもらいました。全体11位となりました。

今回、LM2Xが8位という一桁台の順位を獲得、そしてLM1X・LM4もFinal B進出、好レースをすることができました。明日は合宿地であるプジアーノへ移動し、第3戦に向かってさらにスピードを求めていきます。たくさんの応援ありがとうございました。これからも応援よろしく願いいたします。



全体で12位に入ったLM1x 福井選手（東レ滋賀）



たくさんのご声援ありがとうございました! これからも応援よろしくおねがいたします!!